Linux 版起動 CD

「ネットワークの構成」設定ガイド

バックアップ先として「ネットワーク ドライブ」を使用する時、 「バックアップ」や「復元」作業前に「ネットワークの構成」を設定 する必要があります。 このガイドでは、「ネットワークの構成」の方法をご案内します。

バックアップ先が外付けハードディスクや、CD/DVD の時は、 この設定は不要です。



CD 起動してメイン画面を表示します。ソフトによって画面ロゴなどが異なります。



📆 test2 [実行中] - Oracle	VM VirtualBox	BARTING AND INCOME.	x	
仮想マシン ビュー デバイス ヘルプ				
般(<u>G</u>) 表示(<u>V</u>) ハード	ディスク(<u>H</u>) パーティション(<u>P</u>) 変更(<u>A</u>)	ウィザード(<u>1</u>) ヘルプ(<u>E</u>)		
タスクを選択	ペーシック ハードディスク 0 (VBOX HARD) E: F: NTFS (E:)	ハードディスクのコピー ワンクリック ウィザード バックアップ ウィザード 復元ウィザード		
 パーティションのコー ペ パーティションの参則 	ベーシック ハードディスク 0 🛛 モ	削除パーティションの復元		
🤫 ブロパティ	「「ボリューム」権預 」 ファイルシス7 ベーシック ハードディスク 0 (サイズ 93 0 C: 基本 NTFS 1 D: 基本 NTFS	ファイル転送ウィザード ブート コレクター	ボリューム うへル アクティン	
	2 E: 基本 NTFS	ネットワーク構成 🍃	(D:) いいえ	
<	3 拡張	862 GB	(5.) 1912	
保留中の操作 〈保留中の操作なし〉 1つ元に成す				
すべて元に戻す	< [>	
通用	'TAB' または 'Shift-TAB'キーでカーソ	ルが移動し、Alt+文字 または 'F9' で	『メニューが表示されます。	
😂 💿 🖉 🖶 😡 🚺 😵 Right Control				

メイン画面から「ソフト名」を指定して 「操作画面」に進んでから、メニュー 「ウィザード」ー「ネットワーク構成」も 可能です





ネットワークデバイスの自動検出

く戻る(<u>B</u>)

構成の選択(<u>N</u>) >

インタフェース ドライバ

pcnet32

eth0

<

ネットワーク構成ウィザードが起動 します。[次へ]をクリックします。

『構成ファイルの読み込み』画面が 表示されます。『次へ』をクリックしま す。

ネットワークデバイスの自動検出 昭 自動検出されたデバイスは下記の通りです。デバイスが存在しない場合には、 デバイスリストから手動で追加できます。 デバイスの説明 Advanced Micro Devices [AMD] 79c970 [PCnet32 LANCE] (i > してください。 デバイスの追加 デバイスを変更

キャンセル

『ネットワーク デバイスの自動検出』 画面が表示されます。ネットワーク デバイスが自動検出されると、リス ト内に表示されます。

表示されない場合には、「デバイス の追加]をクリックし、ドライバを選択

[構成の選択]をクリックします。

Linux 版起動 CD 時の「ネットワーク構成」手順 3/6

インタフェースの設定 eth0 🛛 🛛 🛛			
インタフェースの設定 eth0 インタフェースの設定を下記に示します。			
般			
 ● IPアドレスを自動的に取得します ● 次のIPアドレスを使用します 			
IPアドレス: 1 0 0 0 ネットワークマスク: 255 0 0 0 0 デフォルトゲートウェイ 1 0 0 0 0			
DNSサーバ:			
✓ ネットワークは、「次へ」ボタンをクリックすると再起動されます			
<別の構成(<u>0</u> ネットワーク再起動(<u>N</u>) > キャンセル			

ネットワーク接続の設定

ネットワーク リソースの一覧

マウント ポイント

追加

キャンセル

アンマウント

続行するには、[次へ]をクリックしてください。

< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) >

ネットワーク接続の設定

パス

『インターフェースの設定』画面が表示 されます。通常は[IP アドレスを自動的 に取得する]を選択してください。

IP アドレスを指定する場合には、 Windows 上での設定を参考にして各 項目を設定します。

[ネットワーク再起動]をクリックします。

『ネットワーク接続の設定』画面が表 示されます。[追加]ボタンをクリックし ます。

『マウント設定』画面が表示されます。 ボタンをクリックします。





『共有リソースの選択』画面が表示されるので、バ ックアップ先として予定しているドライブにアクセス できるのか確認します。

ユーザ ID とパスワードが必要な場合には、[ユー ザ名/パスワード]欄に入力してください。保存先の ネットワークドライブを選択した状態で[選択]をクリ ックします。

『マウント設定』が表示されるので、[OK]ボタンをク リックします。

『ネットワーク接続の設定』画面が表示されます。 追加されたリソースを確認し、[次へ]をクリックし ます。

完了画面が表示されるので、[完了]をクリックし ます。









	復元する対象	
探す場所:	ビルサマオ家 バックアップ イメージを選択 (/(ルート ディレクトリ) ディレクトリ) コ ントされているリソース) (ロ カル ディスク) D (NECVMWa VMware IDE CDR1) (/media 5, 0 on ディスク 0) (ローカル ディスク) 5, 2 on ディスク 1) (ローカル ディスク) 5, 0 on ディスク 1) (ローカル ディスク)	I/cdram_hdc)
ファイル名: タイブ: ヘルブ(<u>H</u>)	バックアップ イメージ ファイル(* く戻る(<u>B</u>) 次へ	□ 問く ■ 年+ンセル ↓(fi) > キ+ンセル



各ウィザードでネットワークドライブにア クセスできるのか確認します。

バックアップ先の選択画面では、 『/mnt (マウントされているリソース)』を 選択します。

先ほど選択したネットワークドライブのパ スが表示されるので、フォルダ内にアク セスできるのか(内容が参照できるのか) 確認してください。